



三重中央だより

当院の理念(Principle) ● いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

テーマ

それもみんな、三重中央なんです 政策医療とセーフティーネット

「三重中央医療センターへの期待」 -地域医療におけるセーフティーネットとして-

この度、森本院長先生よりご依頼を頂戴し、寄稿させていただきます衆議院議員の田村憲久です。昨年末には皆様方より温かいご支援を頂戴いたしまして7期目の当選を果たさせていただきました。また、昨年9月までの約1年8か月の間、厚生労働大臣を務めさせていただきましたが、皆様方には格別のご指導ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。

さて、私は、政治家を志して以来、一番の目的として、「国民が健康で幸せな生活を送ることができるようにすることである」との思いから、これまで厚生労働問題を国会議員のライフワークとして取り組んで参りました。そして、国民の皆様の安全・安心の確保のためには、社会保障と税の一体改革を着実に進めていく必要があります、このうち社会保障制度については、持続可能な制度として確立させるための改革を着実に実施し、世界

に誇る我が国の社会保障制度を、次世代に安定的に引き渡していくことが大事であると考えています。そして、医療・介護については、最後ま

で住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、質の高い医療・介護サービス提供体制や地域包括ケアシステムの構築が急務と考えています。また、医療においては本年度より病床機能報告制度がスタートしたところですが、新たな財政支援制度による基金の活用や診療報酬改定を通じて、医療提供体制の再編や救急・小児など医療各分野の充実も重要な課題となっています。

国立病院機構は、国民の健康に重大な影響のあ



前厚生労働大臣
 衆議院議員

田村憲久

る疾病に関する医療などについて、全国的な病院ネットワークを活用し、診療・臨床研究・教育研修を一体的に提供することを使命として、患者の目線に立って、安心・安全で質の高い医療を提供するとともに、国の医療政策や地域医療の向上に貢献をされています。特に、結核、重症心身障害、神経難病など他の設置主体では必ずしも実施されないおそれのある医療について、我が国における中心的な役割を果たされ、また、先の東日本大震災では、いち早くDMAT、医療班、心のケアチームなどを被災地へ派遣して医療支援活動を行うなど、医療分野でのセーフティーネットとしての役割を果たして来られています。

そして、三重中央医療センターは、中勢伊賀二次医療圏を中心とした地域の中核病院として、三重県総合周産期母子医療センター、地域がん診療拠点病院、地域医療支援病院、二次救急輪番病院、第二種感染症指定医療機関、災害医療支援病院など各種指定を受けて重要な医療機能を担っておられます。人材確保を含め病院運営については課題も多いことと推察しますが、そのような中で不採算な結核医療にも対応されながら、健全な経営のもと、「いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心して質の高い医療を提供する。」との理念のもと、病院一丸となってお尽力頂いていることに対しまして敬意を表したいと思います。

また、御縁があり、私の厚生労働大臣就任期間中の一昨年の9月には、貴院を訪問する機会を頂戴し、診療の現場を拝見するとともに意見交換をさせていただきました。特に、新生児集中治療管



NICUでの様子

理室（NICU）で超未熟児の赤ちゃんに接したことや、産科病棟では妊婦さんや赤ちゃんを抱いたお母さん方と懇談したこと、貴院がユニセフ・WHOの認定の「赤ちゃんにやさしい病院」として、院内助産を含めて様々な工夫や取り組みをされていることなどが強く印象に残っています。このような貴重な機会を設けていただき、改めて感謝を申し上げます。

近年の急速な高齢化による疾病構造の変化を踏まえ、「病院完結型」の医療から、地域全体で治し、支える「地域完結型」の医療への転換が必要とされる中、国立病院機構に対しては国の危機管理や積極的貢献が求められる医療、セーフティーネット分野の医療、地域のニーズを踏まえた5疾病・5事業の医療や在宅医療を推進するための地域連携を確実に実施しつつ、地域医療に一層貢献されることが期待されています。

三重中央医療センターにおかれましても、今後三重県が地域の実情に応じて定める医療計画（地域医療ビジョン）を踏まえ、当該計画で求められる役割を積極的に果たし、地域における課題の解決に貢献されますとともに、何より、地域の皆様の安心安全な暮らしの確保のために、広い意味でのセーフティーネットとしてその機能を遺憾なく発揮されることを期待しております。

今後とも、三重中央医療センターが、地元三重に欠くことの出来ない医療機関として、地域の皆様から信頼され、益々ご活躍されることを心からお祈り申し上げます。



意見交換会の様子



三重中央医療センターの使命・・・ 結核診療について

呼吸器内科医師 藤本 源

の特殊性が関連しています。

とにかく結核の最大の恐怖は「うつる」ということです。その伝播様式は空気感染であり、同じ空調で息をしていると感染する可能性がある、すなわち直

毎日58人の新規登録者・・・これが現在（平成24年）の日本における結核の実情です。実に毎日58人の新たな結核患者さんが出ているわけですね。お世辞にも少ないとは言えません。三重県においても平成26年の集計で360人の結核患者の届け出がありました。毎日どこかで誰かが結核と診断されているわけです。

結核と聞くと、過去の病気というイメージがあります。梅毒やチフスなどと同様に昔は猛威を奮ったであろうけど、いまは衛生状況もよくなり、先進国である日本では無縁の存在ではないのか、と。たしかに罹患率・死亡率とも減少傾向にはありますが、前述のように少ないとは言えず、WHOからは中蔓延国という位置づけになっているのです。決して他人事ではすまされない、これが日本の結核なのです。

一方で、われわれ医療の分野では結核という病気を診れる医療従事者が少なくなりました。これには、医療の専門分野化とともに結核という病気

接接触しなくても例えば電車や飛行機などで結核患者さんが同乗しただけでもうつるかもしれない、というわけです。そのため、排菌陽性の活動性結核と診断された患者さんは隔離病棟への入院を余儀なくされます。これが、結核という病気を診れる医療従事者を少なくさせている所以の一つです。

当院は、政策医療を担う国立病院機構の一員として、結核患者さんを受け入れるべく隔離病棟を有している、三重県でも数少ない病院の一つです。結核を診れる医療従事者がそろっており、これは特に呼吸器疾患を診療する上では最大の武器となります。見落とさない、遭遇したときに迅速かつ適切に対応できる。まわりに感染を広めず、早期に治癒に結びつける、そんな社会のニーズに寄り添った当院の診療の一部を知っていただければ幸いです。

「感染症病棟」があることで、三重中央医療センターは「院内感染」から守られている

エボラウイルス感染症、デング熱、新型インフルエンザ・・・世界には一体どれだけ「怖い感染症」があるのでしょうか？経済のグローバル化は世界を狭くし、以前ならアフリカ大陸の一部地域の風土病であった特殊な感染症が世界に拡散する時代になってしまいました。

2009年の新型インフルエンザ騒動の時、当院に匿名の電話がありました。

「新型インフルエンザが怖いので、疑い患者を診察しないと約束してもらわないと、通院出来ません」という主旨でした。一般市民は、「怖い感染症」患者を診る病院では自分が感染するのではと不安になるようです。しかし、実際は感染症を診る体制がある病院こそ安全なのです。

どの医療機関にも「怖い感染症」患者が受診する可能性があります。ところが、当院には「外来トリージ室」と「西7階呼吸器感染症病棟」の2重の感染防止機構があります。

空気感染症や飛沫感染症疑い患者は、「外来トリージ室」で分離診療し、隔離の必要性を判断します。（トリージ室の設置場所は防犯上の問題で非公開です）隔離が必要と診断した場合は「感染症病棟」に入院しますが、この経路は一般外来と隔絶されているので、皆さんが感染症患者と接



感染対策診療部長 **井端 英憲**

する可能性はありません。このように、疑い患者を早期に分離診療することで、当院は「三重県で最も院内感染の少ない病院」となりました。「感染症病棟」の存在が、患者さんと家族、医療従事者ら全員を「怖い感染症」から守っているのです。

しかも、西7階感染症病棟の看護師は有能です。20名以上の新型インフルエンザによる呼吸不全患者が搬送された時も、全員が完治して退院しました。呼吸器感染症だけでなく、耐性菌感染症、ノロウイルス、O-157腸管出血性大腸菌など重篤な患者が入院しますが、高度な看護を展開しています。「自分が感染しないか」「家庭に菌を持ち帰らないか」という危険を顧みず頑張っている西7階病棟の看護師を称賛して戴きたいと思います。

国立病院機構が担う役割と共に歩む学校

三重中央医療センター附属看護学校

副学校長 折山 久栄

いただいております。

更には、県内にある3つの国立病院機構の病院（三重病院、鈴鹿病院、榊原病院）とも連携し、学習を広げられるようカリキュラムを構築し、政策医療の理解やその実践者の育成をしています。重症心身障害、筋ジストロフィー・神経難病、精神疾患、結核といったセーフティーネット系の医療・看護についても学習の機会を設けています。

看護を取り巻く社会状況は、急激に変化しており、看護の専門職者に対して期待される役割が大きくなっています。その専門職を育てる

役割である看護学校は、基礎教育としてどう育てていくかは課題です。

看護師として、将来国立病院機構や地域社会に貢献しうる人材育成の目標に向かって一層の努力が必要と考

えています。病院をはじめ地域の皆様のご尽力があつてはじめて、達成できることと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。これからも国立病院機構の養成機関として、国立病院機構が担う役割と共に歩んでいきます。

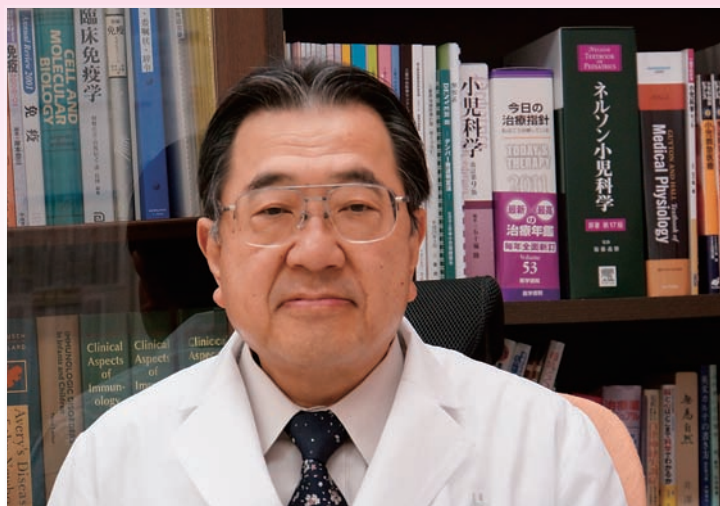
三重中央医療センター附属の看護学校は、国立病院機構の附属の学校として、国が担う政策医療の理解をし、専門職業人として社会に貢献できる人材育成という役割があります。

当校では、これらの役割を踏まえ、教育理念や教育目標のひとつに『国立病院機構が担う政策医療を理解し、将来政策医療に貢献できるための基礎的能力を養う』という政策医療に関する文言を掲げ教育をしているところです。平成21年のカリキュラム改正以前は、政策医療の

看護概論や看護方法論、看護実習を授業科目とし教育課程に組み入れ教育していた時代もあるほど政策医療との関連は深いのです。

母体である三重中央医療センターの職員には、成育医療、がん、循環器病、呼吸器疾患等の分野の講義や実習指導を実際の実践者として教授して





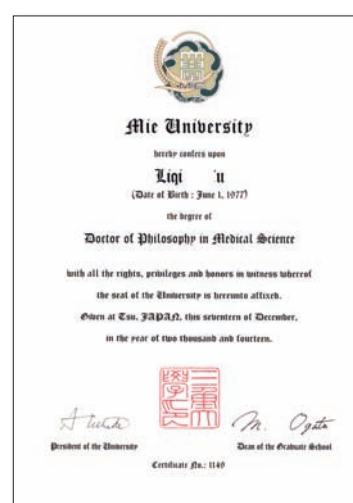
臨床研究部のご紹介

臨床研究部長
三重大学連携大学院生命医科学専攻
病態解明医学講座新生児医学分野
連携教授 **山本 初実**

臨床研究部という部門は当院を受診される皆さまには馴染みの薄い部門かも知れませんが、今回紙面をお借りして少しご説明申し上げます。

高度最先端医療の基礎研究から臨床応用におよぶ研究を幅広く行っている大学とは異なり、国立病院機構の臨床研究部では、各施設の特色である診療機能を活かした研究を実施しています。すなわち、全国に143ある国立病院機構施設ではその専門性を生かし、がん（呼吸器）・がん（消化器）・がん（一般）・循環器・脳卒中・精神疾患・神経筋疾患・感染症・成育医療・重症心身障害児（者）・エイズ・糖尿病・感覚器・骨運動器疾患・免疫異常・血液疾患・呼吸器疾患・肝疾患・消化器疾患・外科麻酔科・経営管理・多施設共同の22分野のネットワークを利用して、診療の科学的根拠となるデータを集積し、我が国の医療の質の向上に貢献する研究や治験を行っています。たとえば、当院では成育医療、糖尿病、感染症、脳卒中に関する研究が精力的に進められていますが、一例を挙げますと、2009年新型豚インフルエンザ（H1N1型）が発生しパンデミック化で世界中を震撼させた時、全国8施設とともに新型ワクチンの治験に参加し翌年の市販化に貢献したことがございました。このように臨床研究部の業績は、当院を受診される皆さまの衆目を集める形でお示しすることはできませんが、これまで地道な取り組みによって、安心して安全な質の高い患者様中心のチーム医療をご提供する一翼を担って参りました。

さて、当院の臨床研究部は、平成17年に三重大



学連携大学院生命医科学専攻病態解明医学講座新生児医学分野が併設されました。これは、大学にない研究設備、活発な研究活動、高度な研究水準、ユニークな研究内容が認められたためですが、一方で、医学教育・医学研究の充実と資質の向上を図り、学術および科学技術の発展に寄与するという責務と、三重県の周産期医療の発展と健やかな成育環境の整備の礎となる臨床研究・医学教育を実践するという使命も託されています。昨年12月には写真にありますように当院で研究し大学院を修了した中国上海小児医療センター小児科医師に当院として第1号の博士号が三重大学から授与されました。

現在は日本の新生児科医2名に加え、ミャンマーヤンゴン第一医科大学の小児科医Aung Ko Oo先生が臍帯血の白血球の働きについて研究していますので、少しお国のことや留学のことについて手記を書いてもらうことにします。

臨床研究部発達免疫学研究室 国際研究員
三重大学大学院生命医科学専攻病態解明医学講座新生児医学分野 院生
Aung Ko Oo

私は、ミャンマーに4つある文民（軍に関連していない）医科大学で最も歴史のあるヤンゴン第一医科大学の出身で、付属病院のヤンゴン小児病院で小児科医としての研修を受けました。写真1は、ネピドーへの首都移転に伴い健康省から移管されたヤンゴン小児病院の中で最も新しい神経科、腎臓科、血液科、腫瘍科の建物です。ミャンマーは国際的に経済活動の場として注目されていますが、観光スポットの多い国としても知られています。写真2は旧首都ヤンゴンの中心部にあるシュエダゴン・パゴダと呼ばれる寺院です。ミャンマーは仏教国でパゴダ（仏塔、寺院）と呼ばれる寺院が沢山ありますがシュエダゴン・パゴダはヤンゴンで最も有名です。また、ヤンゴンにはカラウェイホールと呼ばれる王宮があり船の形をしています動きません。写真3はカンドー

ジー湖から望むカラウェイホールです。更に、ヤンゴンから少し離れたバゴーにあるシュエターリャウン寝仏は「ビルマの竖琴」の舞台となった巨大な寝釈迦像として有名です（写真4）。

さて、私は、三重大学とヤンゴン第一医科大学との協定のおかげで連携大学院のある三重中央医療センター臨床研究部に留学する機会を得ました。現在、細菌などの刺激により好中球

からNK細胞へのシグナル伝達が新生児期の自然免疫系でどのように制御されているか臍帯血を使って研究しています。昨年12月京都で行われた第43回日本免疫学会学術集会では、新生児期のNK細胞の制御機構の特性についてポスター発表を行うことができました。研究部の皆さんの励ましと援助のおかげで、赤ちゃんが生まれつき持っている感染防御能の基礎的な理論からまだ解明されていない未知の事柄まで幅広く学ぶ機会を得ています。

また、新生児集中治療室NICUにおける様々な医療機器や人的資源の豊かさにも驚きました。日本のNICUにおける治療は優れており、非常に未熟な1000g未満の赤ちゃんが後遺症なく成長できるのが標準となっていることにも感動しました。赤ちゃんの搬送に用いられる新生児用救急車およびその搬送システムが三重県の行政の理解と支援を受けて運営されていることにも感銘を受けました。諸外国に比べるとミャンマーでは未だに小児期の死亡率は高く、この死亡率を下げるためには新生児死亡率と周産期死亡率を改善することが課題で、新生児医療のレベルを向上させて安全な分娩を確立しなければなりません。私の日本での研究が、ミャンマーのこれらの問題を解決する上で有益となるように願って日々研究を続けています。



ミャンマー紹介

青春グラフィティ

薬剤科薬剤師 小林 加奈

阿波踊り篇



2012年に当院薬剤科へ入職させて頂き、3年が経過しようとしています。

私は薬局内での業務に加え、東4病棟での病棟薬剤業務・チーム医療ではICT（院内感染対策チーム）に参加させて頂いております。

今回、青春グラフィティ記載の機会を頂きまして、私の青春時代についてお話させて頂きたいと思います。

私は、徳島県にあります徳島文理大学の薬学部6年制の第1期生として、平成24年度に大学を卒業しました。徳島県に6年間も住むのならと、大学在学中は徳島県的一大イベントであります「阿波踊り」サークルに入部しておりました。徳島市では、毎年お盆の8月12日～15日の4日間にわたり阿波踊りが開催され、日本全国・海外からも沢山の観光客が訪れ「踊る阿呆・見る阿呆」になります。踊りに関して初心者の私。阿波踊り本番への参加に向け、入部直後より先輩から指導を受けハードな練習が続きました。練習に耐え抜き足腰が日々ムキムキになっていくのが分かりました。そして、大学1年生の夏、初めて参加した

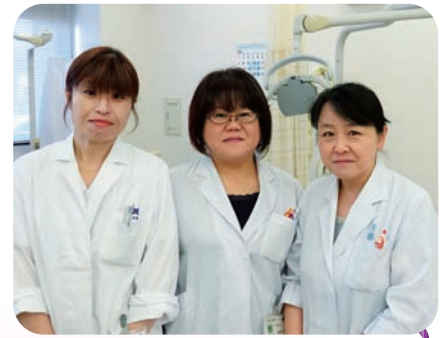
「阿波踊り」。4日間踊りきった達成感と、祭りの迫力と、お客さんや他の踊り子さんから向けられた笑顔が嬉しくて阿波踊りの虜となってしまいました。ここから、私の阿波踊り生活が始まりました。阿波踊りのサークルには、お盆の阿波踊り本番以外にも沢山のイベントがあり、年中阿波踊り三昧です。依頼を受けてイベントで踊ったり、阿波踊りコンテストもあります。また、大学生らしく飲み会も沢山ありました。

私は、阿波踊りのサークル活動を通して、大好きなことに取り組む事の楽しさや充実感、ハードな環境における忍耐力、そして笑顔でお付き合いする事の大切さを学び得ることができたと考えております。この経験を生かし、これからも「笑顔輝く、歌って踊れる薬剤師」を目指し日々精進していきたいと考えております。お薬でお困りの事がありましたら、足取り軽く対応させて頂きますのでお声がけをお願いします。

輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外でも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

歯科衛生士 鋤崎 文子



みなさん、こんにちは。寒さもだいぶん和らぎ、暖かい日も多くなってきましたね。

歯科・口腔外科外来で、歯科衛生士として勤務しています。

私たち歯科衛生士は、歯科医師の診療が円滑に行くように診療の補助をすることや、患者さんのお口の健康を維持していくのに必要な予防的処置をすることが主な仕事です。

当院の歯科・口腔外科外来では、他院からの抜歯・外科処置依頼の紹介患者さまの手術や、病気の治療のために開業医での一般歯科治療が難しい方の歯科治療などを中心に診療を行っています。

なかでも開業医勤務の歯科衛生士業務と大きく違うのが、全身状態が悪く口腔内の保清が難しい方の口腔ケアや、全身麻酔での手術前後に感染予防のために受けていただく予防的処置です。いろいろな科の病気の知識と、患者様の全身状態を理解したうえで対応していかなければならず、日々勉強の毎日です。

少しでも患者様の身体のため、お口の健康のために力になれるように努力していきます。

少しでも患者様の身体のため、お口の健康のために力になれるように努力していきます。

シリーズ 医療用語の 基礎知識 8

病院職員が何気なく使用している用語で、普通にはあまり馴染みがない医療用語を分かりやすく解説します。

高現給

病院の領収書で「高現給」と書かれているもの見たことある方はいませんか？もっとも病院によって記載

方法は様々ですが、これは「高額療養費現物給付」の略で、病院の医療事務部門や、市役所や会社の保険証を担当する部署で使われている言葉です。

高現給を説明する前に、まずは高額療養費の制度について簡単に説明しましょう。高額療養費とは、病院の窓口で支払う医療費を一定額以下に押さえる制度です。一定額の計算は、所得や70歳前後で違ってきます。詳しい説明はここでは省きますが、例えば年収500万円程度の人の場合、「80,100円＋（医療費－267,000円）×1%」という式で1ヶ月に支払う額が決まります。医療費は1ヶ月毎に計算し、個室代や食事代は除きます。仮に入院して1ヶ月の医療費が100万円だったとすると、3割負担で30万円ですが、この式に当てはめると「80,100＋（1,000,000－267,000）×1%＝87,430円」が最終的に支払う金額になります。手続きは2通りあり、1つは実際に30万円を病院で支払い、後から保険証を発行したところで手続きをして差額を返してもらう方法です。

もう1つの方法が「高現給」になります。これは事前に保険証を発行したところで手続きをして「限度額適用認定証」というものを発行してもらい、それを病院窓口保険証と一緒に提示することにより、病院窓口では限度額（上の式では87,430円）しか払わないという制度です。30万円との差額は病院から各保険機関へ直接請求します。

「高現給」には用意するお金が少なくないというメリットがあり、「事後に手続きする方法」では、診療月から返金までに最低でも3ヶ月程かかるデメリットがあります。ただし結果は同じですので、先に手続きするか、後で手続きするかは皆さん次第です。詳しくは保険証の発行元や病院窓口でご相談ください。



No.8
(医事 伊藤啓之)

「出前！市民公開講座」報告

出前！市民公開講座を皆様の前で開催させていただき1年が経過いたしました。
この1年たくさんのご注文ありがとうございました。
これからも皆様からのご注文をお待ちしております。
恒例となりましたサンバレーでの講演は今後も予定が盛りたくさんです。
是非、ご来場ください。



第35回 サンバレーにて
「脳動脈瘤とくも膜下出血」



第36回 NHO榊原病院
「安全に食事摂取」をテーマで講演



第37回 サンバレー
ACSLチームによる救
急蘇生法を実践を交えて
皆さんと行いました。



第38回 半田公民館にて 薬剤師より
「くすりと栄養の話」を講演させて
いただきました

出前！市民公開講座のお知らせ

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

3月26日(木) イオン津南ショッピングセンター サンバレー1F サンバレーホール (15時~16時)

・誰にも聴けない痔の話

講演：外科 武内 泰治郎

4月7日(火) イオン津南ショッピングセンター サンバレー1F サンバレーホール (15時~16時)

・ピロリ菌の診断と治療
・便潜血が陽性と言われたら

講演：消化器内科 渡邊 典子

ナイチンゲールフェア in サンバレー

予告!
5月9日(土)

今年もイオン津南ショッピングセンターにてナイチンゲールフェアを開催いたします。
楽しく健康チェックできるブースが盛りだくさんです！
詳細は後日・・・乞うご期待！！

「クローバー友の会」 会 員 募 集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

記入いただいた個人情報には本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5
TEL 059-259-1211 内
地域医療連携室



国立病院機構
三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別紙公表いたします。特典は変わることがあります。)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

■会員証

住所 _____

氏名 _____

電話 _____

出前！市民公開講座 参加特典としてスタンプ10個貯まった方に
当院特製のマグカップを贈呈しています。
たくさんの方にお持ち帰りいただいております。



クローバー友の会に
入って、ご入会・ご参加
ください。



8F

食堂閉鎖のお知らせ

3月末をもって、8F食堂
永楽座が閉店することとなり
ました。

長らくご利用いただきあ
りありがとうございました。

4月からは1F エントラ
ンスホールに『カフェド・ク
リエ』が開業予定です。

ぜひ、ご利用ください。

編 集 後 記

「春眠暁を覚えず」とのことわざのとおり、日毎にそのような日が増えました。
本号では、他の民間病院ではアプローチが困難でありながら、一方で、(国を挙げて)
取り組まなければならない医療である「政策医療」(新型の感染症や結核など)における
当院の取り組みを紹介させていただきました。これらの取り組みは、不採算であり、また、
ニュースなどで大きく取り上げられることはありません。しかしながら、不断の取り組み
が必要であり、決して欠かすことができません。これらによって、当院が医療分野の安全
網の一翼を担っていることを知っていただけると幸いです。(湯)

発行所

三重中央医療センター

院長 森 本 保

三重県津市久居明神町2158番地5
TEL. 059-259-1211
<http://www.hosp.go.jp/nmch>

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●●

お の 医 院

ホームページアドレス：<http://www.okano-iin.jp/>



当医院は平成4年近鉄中川駅南で開院、その後駅西に移転しました。

地域の方に信頼される医院づくりを進め、かかりつけ医として新しい医療、細やかな配慮のできるやさしい医院を目指しています。主に内科、循環器科、消化器科、呼吸器科やリハビリテーション科を中心に診療を行っています。

専門病院や地域の介護施設と連携し、いつでも安心な医療を提供したいと、心がけています。三重中央医療センターの先生には、引き続き、宜しくお願いします。

院長：岡野 秀治（内科）
 医師：西岡 敬明（消化器内科）
 診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、
 リハビリテーション科
 住所：〒515-2325 松阪市嬉野中川新町1-6
 電話：0598-42-7211
 おかの医院 [検索](#)
 休診日：木曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	△	△

津 健康クリニック

ホームページアドレス：<http://zkenko-c.com/>



当院はJR/近鉄津駅の西口から三交バスで3分・徒歩10分のTTC医療グループビル（津商業高校前）の3階に1996年6月に人間ドック／健康診断専門施設として開業。本年6月で19年になり、各種共済／健保組合の組合員様の健診を中心に月曜～土曜日の毎日実施しています。更に当院では外部の各種専門医の皆様のご協力を得て各検査結果についてW／トリプルチェックを実施して「見落とし」を避ける様にしています。

婦人科健診も、同じTTCビルの金丸産婦人科（金丸恵子院長）さんが同様に毎日対応して下さい、受診者さんからも喜ばれています。

人間ドック／健康診断を受診され、精密検査・治療が必要と判定された方には診療情報提供書（紹介状）を発行さ

せて頂きますので宜しくお願い申し上げます。

院長はゴルフを生き甲斐にされています。副院長は息子さんのイタリア料理店のイルファーロ（津市久居戸木町5556-2 TEL059-271-6850）の料理が自慢です。事務長は日本唯一のMUSEUM OF TANNON（タンノイ博物館・津市白山町伊勢見150-195 TEL059-264-2223）の館長で、そこに鎮座するAutograph15"Redが自慢です。更に伝統木構造の「森林力の家」（同所）と言う、国産桧・松・杉の無垢材だけを使用した200年住宅の設計・工務店の代表と言う別の顔が在ります。

院長：清瀬 正晴
 副院長：財田 至啓
 事務長：松橋 健
 住所：〒514-0062 津市観音寺町799-7 TTCビル3F
 電話：059-226-0456 FAX：059-229-5720
 診療内容：人間ドック、生活習慣病健診
 定期健康診断、協会けんぽ健診
 各種共済／健保組合健診、内科
 脳ドック（1.5テスラ）、Pet-CT検査
 休診：日曜、祝祭日、お盆、正月

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:00～12:00	○	○	○	○	○	○
13:00～15:00	○	○	○	△	○	△

大西内科ハートクリニック

ホームページアドレス：<http://www.onishi-heart.com/>



近鉄南が丘駅東口徒歩5分、三重県運転免許センターの前の道路沿いに位置します。院長は、内科専門医および循環器内科専門医で、特に心不全を専門としています。心不全というのは、“からだ”が必要とする酸素を運ぶ血液を、心臓というポンプがうまく“からだ”に送れないため、息が苦しくなったり、息が上がったり、むくんだりする病気です。心不全は心臓だけの病気ではなく、不整脈、狭心症、心筋梗塞という循環器疾患、高血圧、糖尿病という生活習慣病、COPDのような呼吸器疾患と重要な関連があるため、そのような病気の管理を中心としております。内視鏡

専門医による胃内視鏡検査、女性医師による乳腺外来もおこなっております。三重中央医療センターは当院から車で約15分の距離に位置するため、精密検査や入院が必要な患者さんや、CTやMRIなど高度な検査が必要な患者さんの連携をとっております。あなたの健康についていっしょに考えましょう。

院長の最近の著書（単著）：“新しい心行動態入門”（2014年9月メディカ出版）、“「息切れ」を極める！”（2014年12月メディカ出版）

院 長：大西 勝也
診療科目：内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、乳腺外科
住 所：〒514-0823 津市半田3431-5
電 話：059-225-2597
予約専用電話：059-253-6253 Fax：059-225-3033

診療時間	月	火	水	木	金	土
8：30～13：00	○	○	○	○	○	○
16：00～18：30 （最終受付18：30）	○	○	○	△	○	△

【休診日】 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

坂倉内科医院



当院は津市の中心部からやや南に位置する内科クリニックです。

患者さんの話をよく聞き、わかりやすく丁寧な説明をすることを常に心がけております。病気に対する不安感を取り除くことが私たちにできる診療の第一歩であるという思いからです。こうした考えを十分理解してくれるスタッフにも恵まれました。笑顔を絶やさず患者さんの心に寄り添う医療を目指して皆で日々奮闘しております。

診療は一般内科、急性期疾患の治療の他、生活習慣病

の治療や予防にも力を入れて取り組んでおります。血管年齢の測定や頸部動脈の超音波検査により、動脈硬化の有無を簡便に調べることができます。また経鼻内視鏡を導入しており比較的苦痛なく上部消化管の検査を行なえます。さらに詳細な検査、治療が必要な際には連携医療機関へのご紹介、診療情報の提供を行っております。三重中央医療センターの先生方、スタッフ様には日頃から大変お世話になり感謝しております。

その他各種健康診断や在宅医療も行っておりますので何なりとご相談ください。

院 長：坂倉 武彦 副院長：坂倉 美穂
診療時間：午前 9：00～12：00
午後 15：00～18：00
休 診 日：木曜日、日曜日、祝日、土曜日午後
住 所：〒514-0835 津市幸町4-6
（R23「南中央」交差点から西へ50m）
電 話：059-226-7770

診療時間	月	火	水	木	金	土
AM 9：00～12：00	○	○	○	△	○	○
PM 3：00～6：00	○	○	○	△	○	△



外来診療担当表

平成27年3月1日現在

診療科名等			月	火	水	木	金
初診内科 (初診・予約外)		1 診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	北村 政美【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】
		2 診	竹内 圭介【消】	中久木 哲也【循】	藤本 源【呼】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】
		3 診	新谷 卓也【循】	子日 克宣【消】	十時 利明【消】	渡邊 典子【消】	亀井 昭【消】
	*初診及び紹介患者様は、総合内科で診察いたします。	4 診	中谷 仁【循】	奥田 昌也【糖】	田口 由紀子【消】	岡野 智仁【呼】	内藤 雅大【呼】
		10 診		吉川 恭子【消】			
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器科	5 診				井端 英憲(午後再診)	
	循環器科	5 診	田中 淳子	川崎 敦	新谷 宇一郎	中久木 哲也(午前再診)	北村 政美
	呼吸器科	6 診	藤本 源	井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	大本 恭裕
	消化器科	7 診	子日 克宣	亀井 昭	渡邊 典子	十時 利明	竹内 圭介
	内 科	8 診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	田口 由紀子【消】	中谷 仁【循】
		9 診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中(崇)【糖】	田中 剛史【糖】
		10 診			内藤 雅大【呼】	奥田 昌也【糖】	岡野 智仁【呼】
整形1診			加藤 裕也【消】				
神経内科	1 診	北川 長生	梶川 博之(再診予約のみ)	北川 長生	梶川 博之	北川 長生(再診予約のみ)	
	2 診	吉丸 公子	北川 長生(再診予約のみ)	梶川 博之	北川 長生	吉丸 公子	
小児科	午 前	1 診	井戸 正流		井戸 正流	田中 滋己	田中 滋己
		2 診	*NICUフォロー	*NICUフォロー	発達外来	*NICUフォロー	
		3 診		田中 滋己	山本 初実(予約)	井戸 正流	
		4 診	発達外来			発達外来	
	午 後	1 診	田中 滋己(予約)	乳児健診			予防接種
		2 診	*NICUフォロー	2週間・1ヶ月健診	発達外来	*NICUフォロー	
		3 診	NICUフォロー		山本 初実(予約)	NICUフォロー	(NICUフォロー)
外 科	1 診	湯浅 浩行	谷川 寛自	横井 一	信岡 祐	谷川 寛自	
	2 診	横井 一		武内 泰司郎		湯浅 浩行	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						谷川 寛自	
整形外科 (予約・紹介のみ)	1 診	田中 雅		田中 雅		浅沼 由美子	
	2 診	長倉 剛		小寺 秀樹		長倉 剛	
	3 診	新谷 健		新谷 健		小寺 秀樹	
脳神経外科	1 診	霜坂 辰一	石田 藤麿	霜坂 辰一	種村 浩	石田 藤麿	
	2 診		種村 浩(初診)		芝 真人	霜坂 辰一(再診予約のみ)	
脊椎・脊髄外科			*水野 正喜 *診療時間は10：00～14：00までとなります。				
呼吸器外科			安達 勝利		樽川 智人	安達 勝利	
心臓血管外科		森本 保		佐藤 友昭	ペースメーカーチェック	日置 巖雄	
皮膚科(*予約・紹介のみ)		中西 朝子		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科 *水曜日の初診及び再来初診の受付時間は 8：30～10：00までとなります。		1 診	加藤 雅史	*加藤 雅史(初診)	加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	
		2 診	岩本 陽一(初診) (小児泌尿器)	岩本 陽一	岩本 陽一(初診)	岩本 陽一(初診) (小児泌尿器)	
産科・婦人科	午前	1 診(初診)	前川 有香	日下 秀人	前田 眞	吉村 公一	澤木 泰仁
		2 診(婦人科再診)	前田 眞	前田 佳紀	吉村 公一	前田 佳紀	日下 秀人
		3 診(産科再診)	武田 真由子	道端 肇	前川 有香	武田 真由子	道端 肇
		4 診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
	午後	1 診(産科再診)	前川 有香	日下 秀人	前川 有香	前田 佳紀	澤木 泰仁
		2 診(婦人科再診)	澤木 泰仁	前田 佳紀	吉村 公一	吉村 公一	日下 秀人
		3 診	*助産師外来	産後一ヶ月健診	*助産師外来	*助産師外来	*助産師外来
眼科(予約・紹介のみ) *水曜日の受付時間は8：30～10：30までとなります。		久瀬 真奈美		久瀬 真奈美	久瀬 真奈美	久瀬 真奈美	
耳鼻咽喉科	午前(初診)			*伊藤 由紀子	*伊藤 由紀子		
	午前(再診予約のみ)		伊藤 由紀子			伊藤 由紀子	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来		中耳外来		
放射線科(7ブロック)		奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	
リハビリテーション科		小寺 秀樹	田中 雅	長倉 剛	長倉 剛	新谷 健	
歯科・歯科口腔外科		柳瀬 成章	柳瀬 成章	*柳瀬 成章	柳瀬 成章	柳瀬 成章(再診予約のみ)	
看護外来(予約)		看護外来 (第1火曜日 透析予防外来)	看護外来 (第3火曜日 透析予防外来)	糖尿病外来	ストーマ外来	フットケア外来	

*初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30～11:00までです。 *医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。
*当院のような急性期病院は、病棟入院患者様の処置、手術、検査、回診等があり、外来診療に制限を設けなければならない診療科もあることを御理解ください。

不整脈専門外来	肝炎外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわすれ外来	乳児健診	予防接種	NICUフォロー
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・木・金 午前診療	月・金曜日	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療	月・火・木曜日 午前診療
循環器科(新谷)	消化器科(竹内)	呼吸器科	呼吸器科	神経内科(吉丸)	小児科		小児科(益野)
未破裂脳動脈瘤 の相談	脊椎・脊髄外科専門	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・膿胸	中耳外来 (予約)	ブレママ外来	おっぱい外来 (予約)	発達外来	緩和ケア外来
金曜日 午後診療(要予約)	火曜日(10時～14時) (要予約・紹介)	火・木・金 午前診療	火・木曜日 午後診療	火・木・金曜日 午前診療	月・火・木曜日 午後診療	月・水・木曜日 診療	金曜日 午後診療(要予約)
脳神経外科(石田)	脊椎・脊髄外科(水野)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科・婦人科		小児科(山川)	外科(谷川)